

Hachioji MAIL NEWS



輸送サービス労組八王子地本



ホームページ

2024.06.30

No.151



Twitter

八地申
第20号

2024.-6.27

「中央快速線等への

グリーン車サービス導入に関する申し入れ」

団体交渉を開催！

1. 中央快速線等へグリーン車サービスを導入する目的を明らかにすること。

回答

グリーン車は主要5方面（東海道、中央、東北、常磐、総武方面）の中で順次導入してきたが、中央快速線等の着席サービスに対するニーズが高いこともあり、中央快速線等へもグリーン車を導入することとした。

- 導入に 860 億円かかっており、年度収入 80 億円を見込んでいる。
- 車両、社員、GA*が全て揃ってからサービスインとはならない。 ※「グリーンアテンダント」の略
- TASC*は全編成への導入完了後、本年9月以降実施。 ※「定位置停止装置」の略

2. グリーン車サービスを運用開始するまでのスケジュールや車両運用方法を明らかにすること。

回答

2023年度初より現車訓練等の教育・訓練は行っており、現在も必要な教育・訓練を実施している。
なお、2024年度末以降の営業開始に向けて準備を進めているところである。

- まずは停止位置目標の変更、TASC導入と進めているが、詳細は決定次第お知らせする。
- グリーン車連結編成と非連結編成が混在する過渡期での利用者への案内方法やLED式発車標の対応は検討中。グリーン車の取扱いは現在も本社と調整している。
- GAへの教育内容は把握していないが、他線区での実績を踏まえていると聞いている。

「サービスインは年度末だが、具体的には未定。」

何を聞いても「検討中。」「調整する。」「問題ない。」「未定。」の繰り返し

これが「責任ある回答」とでも!?

「え、6画面ITVって

どういうことですか？」

取扱いを聞いても

一般論しか言わない

「業務量が増えても

現行体制で対応可能。」

- 車両運用は検討中。運用本数の増減は示せないが、仮に運用本数が減ってもグリーン車連結分の定員増でカバーできる。
 - 車両数増加による要員については首都圏本部の所管だ。八王子支社が言える立場じゃない。
 - JETS*の作業時分は車両増加分を加味していると聞いているが、首都圏本部が契約窓口なので詳細はわからない。 ※「JR東日本運輸サービス」の略。
 - トイレ故障時の対応方は調整中だ。列車編成変更の通告方法は本社の安全企画部門で調整していく。
 - 今後の教育は現車、机上の他、先に訓練を終えた社員には「思い出し訓練」を繰り返していく。
3. グリーン車に乗務する社員及びその社員の運用方法を明らかにすること。

回答

グリーン車に乗務する社員及びその社員の運用方法については、現在検討中である。

- 列車ダイヤが決まってから運用方法を定める。GAの運用、乗務範囲は本社・Jクリ*間で決定する。
- GAとの連携方法も検討をしているところだ。料金通脱対策の要員についても本社・Jクリ間で決めることだが、八王子支社としての考えは伝えるようにする。 ※「JR東日本サービスクリエーション」の略。
- 本体社員に車補*を持たせる考えはない。 ※「車内補充権発行機」の略。

この回答の裏で進められる施策は現場軽視の官僚体質そのもの！

ご利用のお客さまと接する現場の声あつての経営をすべきだ！